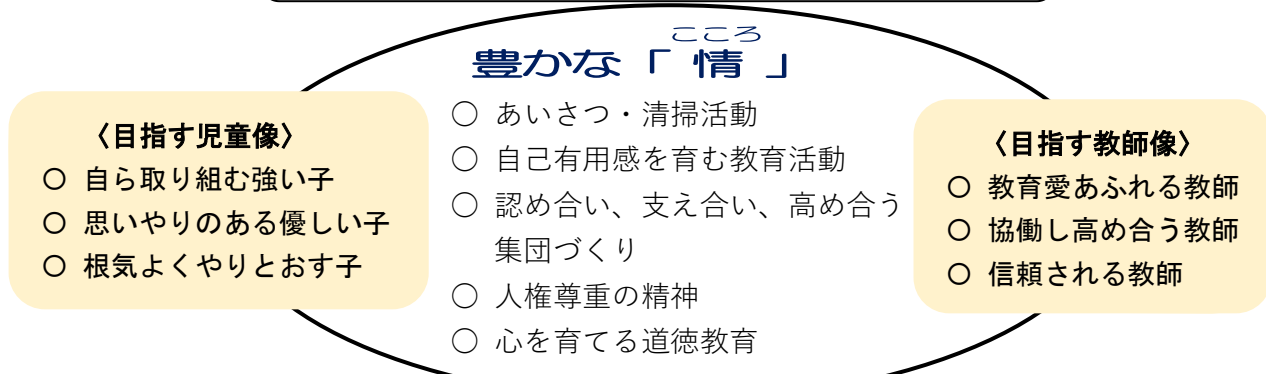


令和8年度 教育計画 松山市立味生第二小学校						学校番号 38	
校長名	中矢 達雄	学級数	23 (4)	児童数	612	教職員数	31

〈学校の教育目標〉

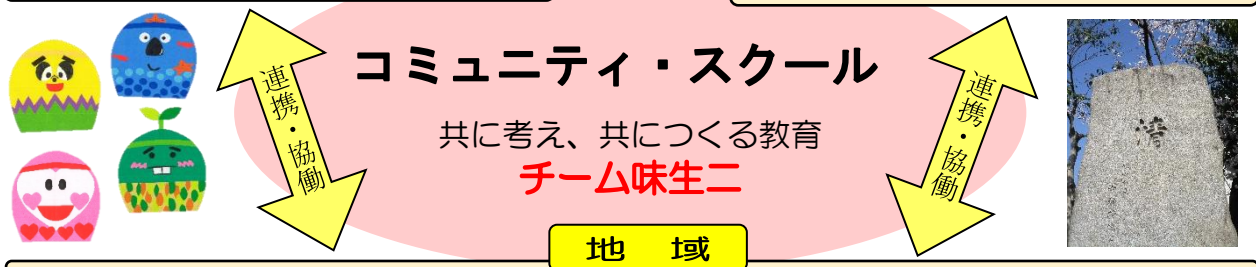
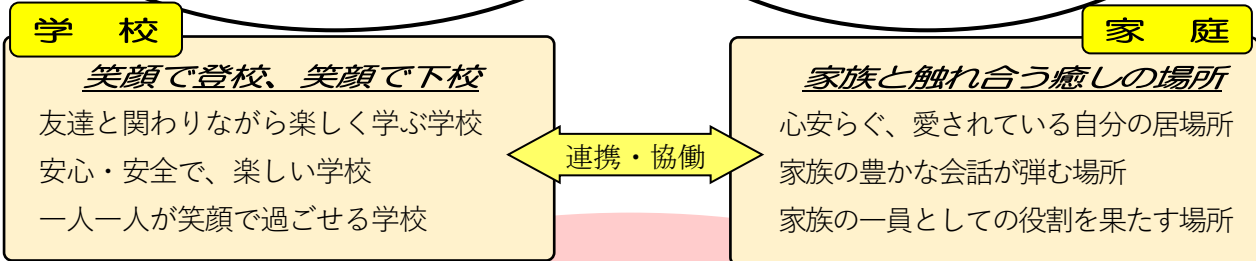
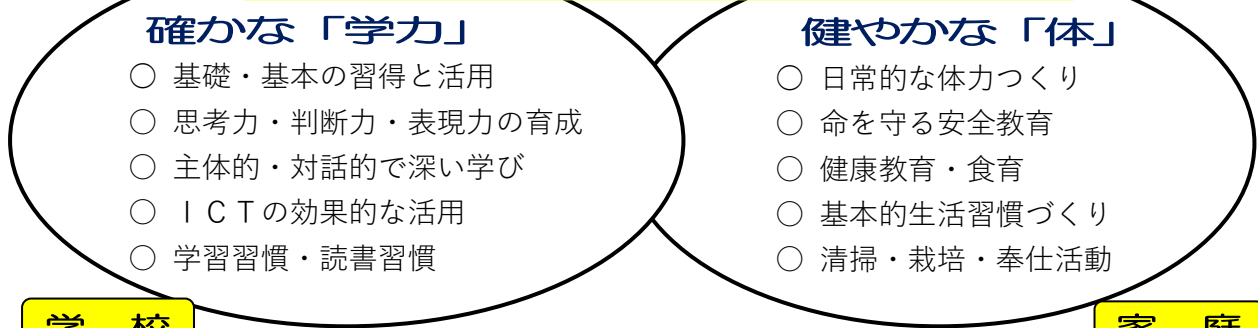
児童の自律と共生を目指す〈まごころ教育〉の推進

【校訓】 強く 優しく 根気よく



〈目指す学校像〉
〈まごころ(真情)〉をもって関わり合い、学び合う学校

まごころと笑顔あふれる味生第二



ずっと住みたい大好きなふるさと

味生の人・自然・文化等との関わり合いから学ぶ地域 ふるさと味生を愛し誇りに思える地域
褒めて・認めて・励まし・応援してくれる人がたくさんいる地域（まごころの街）

重点目標	1 豊かな情（こころ）を育む教育の推進 <徳> ○ 進んで行うあいさつや清掃活動 ○ 自己有用感を育む教育活動の充実 ○ 認め合い、支え合い、高め合う集団づくり ○ 人権尊重の精神を基盤とした人権・同和教育の推進とよさや可能性を伸ばす特別支援教育の充実 ○ 心に響き、心を耕す体験活動や心を育てる道德教育の充実 2 進んで学ぶ子・共に学ぶ子を育てる教育の推進 <知> ○ 基礎・基本の確実な習得と知識・技能の活用力の育成 ○ 思考力・判断力・表現力の育成（まごころタイムの充実） ○ 松山の授業モデルを基にした主体的・対話的で深い学びの充実 ○ 学習基盤としての I C T の効果的な活用 ○ 家庭と連携して取り組む、学習習慣・読書習慣の定着 3 たくましい子を育てる教育の推進 <体> ○ 日常的な運動や遊びを通して育む体力づくり ○ 命の教育を重視して行う、安全に対する的確な判断力や行動力の育成 ○ 食に関する指導や健康教育の充実 ○ 家庭と連携して取り組む、基本的生活習慣づくり ○ 清掃や栽培活動、奉仕的な活動等を通して育む勤労と奉仕の精神 4 個を生かし高める生徒指導の充実 <つながり・和> ○ 個に応じたきめ細かな対応と指導の充実 ○ 規範意識や自律性、温かい人間関係を育てる生徒指導の推進 ○ 教育相談体制の充実と、いじめ・不登校への迅速で組織的な対応 ○ 地域ぐるみで子どもを育てる温かい協力体制の確立 【C S（コミュニティ・スクール）の推進と連携体制の強化】
管理運営	1 人的管理【心を見る眼】 ○ 信頼と協働による風通しのよい温かく活力ある職場づくり ○ 報告・連絡・相談・確認報告を重視した協働体制の確立 ○ 教育専門職としての資質と指導力の向上を目指す研修活動の推進 ○ 服務規律の遵守と不祥事の根絶 2 物的管理【物を見る眼】 ○ 安全・安心で潤いのある教育環境の整備 ○ 危機管理体制の整備と安全点検の徹底 ○ 施設・設備・備品の適正管理と有効活用 3 事務管理【流れを見る眼】 ○ 校務分掌の明確化と責任・協力体制の確立 ○ 適正な事務処理と個人情報・文書管理の徹底 4 業務改善の推進【人・物・事務の効率的管理】 ○ 教職員の心身の健康管理とワーク・ライフ・バランスの充実 ○ C S（コミスク）との連携・協働による働き方改革（業務改善）
本校教育の特色	本校は、今年度で創立 44 年目を迎える。これまで、本校が受け継いできた精神は、開校記念碑に刻まれている「情（こころ）」であり、それは地域にある「真情（まごころ）橋」に由来する。これには、日々の教育の営みの中でまごころを育て、心身ともに健やかに成長してほしいという保護者や地域の人たちの願いが込められている。今年度も、まごころの涵養を教育の根幹に据え、一人一人の学力向上を目指し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に努める。令和 7 年度より保護者や地域の方々のご意見をさらに学校経営に反映すべく文部科学省型 C S（コミスク）を導入した。今年度も家庭・地域との連携を深めながら本校教育を推進していく。